

1. 平成29年度事業報告

I. 事業の実施状況

1. 基本方針

人口減少が着実に進む中、産業の持続的な発展のために必要不可欠な人材不足感が拡大し、大学生の就活は売手市場が一層進み、中小企業のみならず大企業においても十分な人材確保が難しい環境にある。

地方自治体では、地域経済の活性化に不可欠な人材の定着を推進するため、移住・定住施策の充実化を図ってきているが、地域間競争も激しさを増しているため、地域の持つ生活・居住環境、働く環境などの社会基盤整備を進めると同時に、魅力ある地域づくりのための企業、高校・大学、行政、地域社会との広域的な連携の推進がより重要になってきている。

また、持続的な産業経済の発展では、生産性や創造性の向上による価値創造が求められ、同時に知識集約型産業への転換を進めていくことが重要になる。このため、IoT、AI、ビッグデータ等の新しい技術を活用し、多様な価値観を創出するための人材のグローバルなネットワークを促していくことが必要である。

以上から、当センターでは、東三河地域を含む三遠南信地域における魅力ある地域づくりに資する広域的な社会基盤について、都市部・中山間地域等の特性や、人財育成・確保等に配慮しながら研究を進めることとした。

2. 情報及び資料の収集ならびに調査研究

平成29年度は、東三河地域を含む三遠南信地域における魅力ある地域づくりに資する社会基盤についての情報収集や分析を行い、広域的な地域経営基盤の連携による創造的な地域づくり等に着目し、『人財』、『インフラ』、『地域資源・産業資源』の視点からの研究活動を実施した。

(1) 広域的な地域経営基盤の連携による創造的な地域づくりに関する研究

広域的な地域経営基盤の連携による創造的な地域づくりを進めるため、主に三遠南信地域を対象として、「人財」「インフラ」「地域資源」を対象とした研究活動を行った。

① グローバルな知的人材の創出・確保に関する研究

三遠南信地域を対象に、人口・労働力等の将来人口推計に基づく分析を行うとともに、東三河地域における知的職業従事者の集積状況の分析をし、今後の産業人材の集積方向を

検討した。また、外国人や高齢者等の労働力の実態を分析し、今後の利活用を進めていくための対応策について検討した。

②社会資本のストック機能（交通インフラ）の利活用に関する研究

今後の広域交通の拠点である豊橋駅に着目し、駅利用実態を踏まえた利便性向上のための施策の検討を行ったとともに、広域幹線道路整備によるストック効果（農業系物流施設整備）の分析を行った。また、併せて三河港振興のための港湾整備や交通基盤整備の方向について検討した。

③地域経営資源（産業・文化・スポーツ・観光等）の連携に関する研究

今後の新しい産業振興テーマとして「観光」を捉え、広域的な地域経営資源の活用方向として飯田線の利用を検討した。併せて、新たな移動ツールを活用した観光事業について事業関係者組織づくりを進めながら検討した。

(2)地域資源・産業資源を活かした創造的な地域づくりに関する研究

地域資源・産業資源を活かした創造的な地域づくりに関しては、中山間地に点在する道の駅等の観光資源を活用した事業検討を行ったとともに、創造的な知識集約的な産業創出ではオープンデータに着目した研究を進めた。

①中山間地の地域資源の連携による創造的な地域づくりに関する研究

中山間地等で展開する道の駅、高速道路の新しい集客拠点となっているサービスエリア、パーキングエリア等に着目し、それらのネットワーク化とともに、その販売拠点化を強化する仕組みについて検討した。

②広域的で創造的・知識集約的な産業創出に関する研究

昨今、地方自治体で整備が進んでいるオープンデータに着目し、オープンデータを利用した地域振興の取り組み事例を踏まえながら、今後の創造的・知識集約的な産業創出の取り組み方向について検討した。

(3)三遠南信シンクタンク連携事業による研究

三遠南信地域のシンクタンクである(一財)しんきん経済研究所（前 NPO 法人静岡県西部地域しんきん経済研究所）、NPO 法人しんきん南信州地域研究所と連携し、3 機関連携による共同受託事業や研究情報交換を行い、その結果をホームページで公開した。

(4)大学との共同研究

愛知大学三遠南信地域連携研究センターと連携し、三遠南信地域を中心とした広域的な地域づくりに関する共同研究を進めた。

3. 調査研究業務の受託

基本方針で示した『人財』、『インフラ』、『地域資源・産業資源』等に関連した調査研究業務の受託を行った。

①終了調査

名 称	豊橋市障害者福祉計画策定等業務委託
委託者	豊橋市
内 容	本業務では、障害者基本法 11 条第 3 項の規定による市町村障害者福祉計画（平成 30 年度～35 年度）の計画書策定のためのアンケート調査、進捗状況分析と課題抽出等を行った。課題抽出では、障害者種別に行ったとともに、委託者が設定した基本目標ごとの課題を明らかにした。
方 法	アンケート調査、計画書の作成、各種会議の運営補助等、パブリックコメント実施補助
担 当	佐藤克彦、山本明洋、山崎英子

名 称	三遠南信地域の自治体ならびに団体に関する基礎資料の収集および基礎調査業務
委託者	愛知大学
内 容	本業務では、現行の三遠南信地域連携ビジョン（以下連携ビジョン）が、この三遠南信地域でどのような役割を果たしてきたのか、その効果や影響について明らかにし、次期連携ビジョンの策定に資する新たな重点プロジェクト等の展開に向けた、より実現性のある取り組み等の可能性を検討した。具体的には、連携ビジョンの概要や三遠南信サミットの概要、SENA 関連団体の概要等をまとめ、三遠南信地域各自治体の総合計画や創生計画、事業計画等の内容と連携ビジョン重点プロジェクトとの関連性に関する調査等を行い、連携ビジョンの評価カルテや現行連携ビジョンの総合的な評価を行った。
方 法	データ収集、アンケート調査
担 当	鈴木伴季

名 称	越境連携組織の活動実態に関する調査業務委託
委託者	愛知大学
内 容	本業務は、県境地域で越境連携活動を実施している団体や組織に対してアンケート調査を行い、組織概要や活動内容、連携活動に関する意識などについてその実態を把握し、県境地域の地域特性や地域連携の課題、問題意識などについて検討した。具体的には、全国で活動している越境連携組織に対してアンケート調査の実施並びに、過去に行った同様の調査との比較分析を行った。また、各越境連携組織で発行している刊行物の収集とともに、収集した資料等のデータ整理を行った。
方 法	データ収集、アンケート調査
担 当	鈴木伴季

名 称	東三河自然再生推進業務
委託者	愛知県東三河総局
内 容	愛知県が策定した「あいちビジョン 2020」の東三河地域の取組方向で示した目指すべき将来像及び「東三河振興ビジョン」で重点的に取組むべき施策とする「豊かな自然の保全・再生」の具体的な推進に向け、自然観察、SNS での情報発信、エコツアーガイド実践等を通して東三河地域で環境活動をする次世代の担い手育成と豊かな自然の魅力発信の実践を行った。
方 法	里川フィールドリーダー養成講座・魅力発信コアリーダー養成事業の実施、フィールドエコツアーの実施
担 当	樋口育造、山本明洋、加藤勝敏

名 称	第2次三遠南信地域連携ビジョン（新ビジョン）の策定調査
委託者	愛知大学（元は三遠南信地域連携ビジョン推進会議）
内 容	本業務は、平成20年に計画期間概ね10年と定めて策定された三遠南信地域連携ビジョンの満了をひかえ、次期ビジョンの策定に向けた検討を行った。具体的には、三遠南信地域のポテンシャルに関する資料収集・分析、具体的なプロジェクトの発掘等を行うとともに、SENAが開催する拡大委員会、策定委員会、幹事会等の運営支援を行った。
方 法	拡大委員会・策定委員会・幹事会・分科会、ヒアリング調査等
担 当	加藤勝敏、佐藤克彦、高橋大輔、鈴木伴季、山本明洋

名 称	花き産業に重点を置いたビジネスモデル基礎調査
委託者	田原市
内 容	本業務は、「花」を活用した加工・販売・流通・6次産業化から生み出される製品やサービスの可能性調査を実施し、「花」のバリューチェーンを形成する担い手のみならず、異業種からビジネスモデルとその担い手を発掘した。ビジネス分野としては、既存事業者の活動を活かす／花のコンテンツ／ブランド化／全国一の産地であることを活かす／ICTを活かす／住民が一体となって進めることが重要であると提案し、①花拠点活用型ビジネスモデル／②花産地活用型ビジネスモデル／③スポーツイベント等と連携した販売ビジネスモデル等を検討した。
方 法	準備会の開催、ヒアリング調査
担 当	加藤勝敏、高橋大輔、山本明洋

名 称	豊橋駅アクセス性向上検討調査業務
委託者	愛知県
内 容	本調査は、豊橋駅と東三河地域とのアクセスの現状及び課題を整理し、課題への対応の方向性を検討して豊橋駅と東三河地域とのアクセス性の向上に向けた取組の推進を図るための基礎資料を作成した。アクセス性向上の基本的考え方として、①豊橋駅アクセス性向上による受益者層を考えた検討、②豊橋駅並びに周辺地域を含めた一体的なまちづくりを含めた検討、③リニア中央新幹線の整備を踏まえた段階的な改善策の検討、④新たな交通イノベーションを踏まえた検討、⑤公共交通を担う民間事業者のサービス低下に繋がらないような検討、⑥豊橋駅アクセス性の向上による影響を考える等の結論を得た。
方 法	有識者ヒアリング調査、企業アンケート調査、意見交換会の開催
担 当	加藤勝敏、高橋大輔、山本明洋

名 称	港湾振興費の内三河港利用促進戦略検討調査業務委託
委託者	愛知県三河港務所
内 容	三河港は世界的な自動車輸出入港湾であり、完成自動車は全貨物取扱量の75%を占める。完成自動車の動向は三河港の取扱貨物量に直結しており、適切な状況把握やそれに伴う施策の実施は必須である。 本調査は、三河港の主要自動車企業、港運事業者へのヒアリング調査等により完成自動車取扱状況、将来見通し、三河港利用課題を把握した。また、完成自動車を取扱う他港へのヒアリングによりモータープール不足などの課題の対応や港湾整備の取り組みを調査した。さらに、三河港背後圏のコンテナ貨物の流動調査、荷主ヒアリングから潜在的コンテナ量の推計や利用課題を明らかにし、三河港の貨物取扱量の底上げを図る為、港内低利用施設の潜在的な利用手法、施設ごとの効果的な振興策を検討した。
方 法	統計調査、ヒアリング調査
担 当	高橋大輔

名 称	平成 29 年度豊川市における市民生活に関する調査業務
委託者	豊川商工会議所
内 容	豊川市白鳥町の工業地区への超大型商業施設の進出について、今後の豊川市の地域経済やまちづくり、商工業者、市民の生活・環境等に対し、どのような影響を及ぼすかを把握するため、豊川市への大型商業施設の進出に関する豊川市民アンケート調査を実施し、約1000名の市民からの意見について、「大型商業施設の利用意向や期待」、「大型商業施設進出に対する懸念」等の意向を分析し、商工会議所の事業活動の基礎資料として取りまとめた。また、「豊川市における市民生活に関する検討委員会」へ参画し委員会の進行支援を行った。
方 法	統計分析、アンケート調査、委員会開催
担 当	高橋大輔

名 称	平成 29 年度 働く人の健康づくりをサポート～健康デザインプロジェクト「健康デザインプログラム事業戦略に向けたニーズ調査及び課題提案」
委託者	蒲郡商工会議所
内 容	蒲郡市における健康デザインプログラム事業戦略構築に向けた調査として、先進地域におけるヘルスケアツーリズム（スポーツ、温泉、ヒーリング等の提供プログラム）の実態を把握する他、主要な利用層やユーザーニーズを把握した。また、従業員の健康管理に取り組む企業または団体における、その取り組み内容（従業員の健康課題の把握、食生活の改善、運動機会の増進、メンタルヘルスケア等）の実態を把握する他、取り組みの成果や課題を把握することにより、従業員の健康増進における企業ニーズを調査した。以上を通じて、蒲郡地域における健康デザインプロジェクト造成にあたっての課題と取り組みの方向性を提案した。
方 法	ヒアリング調査、委員会の支援
担 当	高橋大輔

名 称	地域経済動向調査事業
委託者	田原市商工会
内 容	本業務では、田原市商工会の会員企業向けのアンケート調査を行い、小規模企業の経営実態を明らかにしたとともに、既存統計資料等をもとに東三河、田原市における経済諸環境を分析し、今後の小規模企業の振興方向について検討した。
方 法	企業アンケート調査、統計分析
担 当	加藤勝敏、山本明洋

名 称	次世代農業人材育成推進委託業務
委託者	豊橋田原広域農業推進会議
内 容	本業務は、平成28年度に実施した「地域農業を支える次世代人材の育成調査」を踏まえ、本地域の農家、大学、企業、行政が集まり、地域連携による次世代農業人材育成の議論を深めるため、関係者ワーキング（平成29年12月21日、平成30年3月1日）、シンポジウム（平成30年1月22日）を実施した。
方 法	ワーキング・シンポジウムの開催
担 当	加藤勝敏、山本明洋

名 称	三遠南信地域オープンデータライブラリ構築に係る基礎調査業務委託（アンケート調査分析、ヒアリング調査等）
委託者	民間企業
内 容	総務省が進めるオープンデータの動きを踏まえ、三遠南信オープンデータライブラリの基本的考え方を検討するための基礎情報の収集を実施し、三遠南信オープンデータの基本的考え方を整理した。 なお、本調査では、三遠南信地域の2つのシンクタンク（静岡県西部地域しんきん経済研究所、しんきん南信州地域研究所）と連携しながら調査を進めた。
方 法	企業ヒアリング・先進地ヒアリング調査、アンケート調査
担 当	加藤勝敏、山本明洋、山崎英子

名 称	三河港資料作成整理
委託者	国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所
内 容	三河港においては、神野ふ頭7-4号耐震強化岸壁の完成が間近に迫るなど着実に整備が進んできている。他方、船舶大型化等への対応の遅れ、施設の老朽化、非効率な施設配置、高潮災害等に対する脆弱性、周辺道路の容量不足による物流への影響等、解決すべき様々な課題がなお多く存在する。また、地域の基幹たる自動車産業も、EV等の次世代自動車の開発やAIを活用した自動運転技術の進展など、大きな変革の時代を迎えている。このような状況の中、10年、20年先の三河港はどのようにあるべきかについて意見交換を行う「三河港豊橋・田原の将来を考える勉強会」の開催に際して、その資料作成整理及び勉強会の運営補助を行った。
方 法	委員会方式
担 当	高橋大輔

名 称	豊川インバウンド促進事業に係る委託業務
委託者	豊川商工会議所
内 容	東三河地域はゴールデンルートの中央に位置しているため、すでに多くのツアー客がこの地を訪れてはいるが、この地域の外国へのPRや外国人観光客への対応はいまだ十分といえる水準ではなく、地域としていかに質の高い対応をし、豊川エリアの魅力を高めていけばいいのか、地域全体で考えていかなければならない課題となっている。 このため、関係団体・機関と連携し、外国人受入の実態調査、豊川市の紹介サイト構築、観光パンフレットの作成、「民泊」及び「おもてなし」をテーマとした意見交換会や、インバウンドに係るセミナーの開催、留学生による意見交換などを実施し、豊川市における外国人を対象とした観光戦略の構築と内外からの観光客を呼び込む具体策を検討、提案した。
方 法	統計調査、アンケート調査、セミナー開催、委員会方式
担 当	高橋大輔

名 称	蒲郡市における産業振興に関する基礎調査業務
委託者	蒲郡市産業振興協議会
内 容	蒲郡市と蒲郡商工会議所で組織する蒲郡市産業振興協議会は、蒲郡市の産業振興を図ることを目的にこれまで蒲郡市の産業経済に関する課題等の調査研究を実施してきた。本調査では、市内事業所を対象に企業用地の確保・設備投資に関する実態調査を実施し、今後の産業支援施策の参考となる基礎資料を取りまとめた。
方 法	委員会方式、アンケート調査
担 当	高橋大輔

名 称	太陽光発電量未来予測システム開発業務に関するアンケート調査業務
委託者	民間企業
内 容	本業務は、民間企業と大学等が連携し、2017年度NEDOの第2回「ベンチャー企業等による新エネルギー技術革新新支援事業」に採択された「多点日射センシングに基づいた太陽光発電量オンタイム予測システムの開発」を進めるため、同システムのニーズを明らかにするための企業アンケート調査を実施した。
方 法	企業アンケート調査
担 当	加藤勝敏、神谷幸宏、山崎英子

②継続調査

名 称	豊橋市市民意識調査
委託者	豊橋市
内 容	豊橋市民5,000人を対象として、「豊橋市への愛着度と自慢度」、「中心市街地の活性化」、「三遠南信地域について」など16項目についてのアンケート調査（市民意識調査）を実施する。今年度からインターネットでの回答を並行して行うため、調査票の設計を紙媒体とインターネット媒体の両方について行う。また、回収されたアンケートを入力し、基礎的な集計と、性別、年齢等のクロス集計を行い、報告書として取りまとめる。
方 法	市民アンケート調査
担 当	加藤勝敏、神谷幸宏、山崎英子

名 称	新城市鳳来総合支所周辺総合開発計画（基本計画）策定支援業務
委託者	新城市
内 容	新城市では、老朽化している鳳来総合支所、旧総合庁舎、開発センターを取り壊し、新しい鳳来総合支所を建てる予定であり、鳳来総合支所の周辺地域を地域中心核として位置づけ、地域における生活拠点として公共施設の整備や社会基盤の充実を図ることとしている。 本業務では、平成30年3月に策定された「鳳来総合支所周辺総合開発基本方針」に基づき、長篠地区の開発および鳳来総合支所の改築のための総合開発計画の策定支援を行うことを目的とする。
方 法	鳳来総合支所周辺総合開発計画策定委員会への支援、総合開発計画の策定支援（アンケート結果分析、計画書の作成等）
担 当	佐藤克彦、山崎英子

名 称	東三河自然再生推進業務
委託者	愛知県東三河総局
内 容	愛知県が策定した「あいちビジョン2020」等における「豊かな自然の保全・再生」の具体化推進に向け、東三河地域の自然環境活動の中心となる人材を活用し、東三河の自然の魅力を創造・発信することによる自然を生かした地域の活性化を進める。 具体的には、過去3年間にわたる東三河地域の自然環境の保全・再生活動や自然の魅力発信等を行う人材養成講座の修了生や地域の環境保全活動に積極的に従事・協力等している者を「地域環境リーダー」として任命し、東三河地域の自然環境の保全・再生・魅力発信するための課題の設定・対策の検討及び事業の成果発表等を行う。また、地域の環境活動の輪を広げていくため、地域の自然環境に関心のある一般参加者を対象として実施する自然環境フィールドエコツアーの企画支援等を行う。
方 法	ワーキングの開催、エコツアーの実施
担 当	樋口育造、神谷幸宏、加藤勝敏

名 称	政策研究調査等補助委託業務
委託者	豊橋市
内 容	本業務は、委託者組織内にシンクタンク機能を設置し、政策形成に係る情報収集及び調査研究に取り組むとともに、各部局の政策立案への支援を行う。具体的には、「情報収集への補助」「調査研究への補助」「会議及び打合せの開催補助」を行う。
方 法	定期的な打合せの実施並びにアンケート調査の実施
担 当	加藤勝敏、高橋大輔、佐藤克彦、神谷幸宏、山崎英子

名 称	三河安城駅アクセス性向上検討調査業務
委託者	愛知県
内 容	三河安城駅と西三河地域とのアクセス性の向上について、現状の把握及び課題を整理するとともに、課題への対応の方向性を検討し、三河安城駅と西三河地域とのアクセス性の向上に向けた取組の促進を図るための基礎資料を得ることを目的とする。 三河安城駅と西三河地域とのアクセスの現状の把握、アンケート等の計画・実施を行い、三河安城駅と西三河地域とのアクセス性に関する課題の把握・整理及び課題への対応の方向性を検討する。
方 法	有識者ヒアリング、企業アンケート調査、ワーキングの開催
担 当	佐藤克彦、神谷幸宏、星野君夫、加藤勝敏

名 称	越境連携組織の実態分析データベースの作成及び国土計画における三遠南信地域の機能性に関する調査業務
委託者	愛知大学
内 容	本業務は、各都道府県に対して県境連携組織の設置状況に関するアンケート調査を行い、現状の把握を行う。また、把握された連携組織の組織概要の把握をし、併せて地方都市圏を支える大学資源やその機能を明らかにするため、居住地分布等の本学卒業生調査を行う。 さらに、既存の文献研究から中部圏を中心に大学等研究連携の視点から国土計画の変遷を整理するとともに、リニア中央新幹線で結ばれる拠点都市連携を考えていくための基礎的資料を整理する。
方 法	アンケート調査、文献調査、ヒアリング調査
担 当	鈴木伴季

名 称	愛知県「道の駅」魅力発信事業業務
委託者	民間企業
内 容	本業務は、東三河地域の道の駅関係者を交えた検討会に対して、講師を選定して派遣し、セミナー等の開催を支援する。
方 法	セミナーの開催
担 当	加藤勝敏、神谷幸宏、山崎英子

名 称	三河港物流効率化検討業務
委託者	三河港振興会
内 容	本業務は、三河港に関連する経済・社会情勢および物流について、現況および将来動向などを把握し、課題を抽出するとともに、将来的な構想を検討するための基礎的な情報について整理する。 併せて、幹線自動車の物流効率化のための方策、三河港周辺の道路整備による効果などを整理する。
方 法	検討会の実施、ヒアリング調査
担 当	高橋大輔、佐藤克彦、加藤勝敏、神谷幸宏、山崎英子

名 称	三河港整備運営補助業務
委託者	国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所
内 容	三河港においては、神野ふ頭7-4号の耐震強化岸壁が完成するなど着実に整備が進んできている。他方、船舶大型化や高潮災害等への対応、周辺道路整備等の解決すべき課題が存在する。 今後の10年、20年先の三河港のあるべき姿について議論する勉強会において、必要な資料の収集および開催記録について取りまとめる。
方 法	会議方式、資料とりまとめ
担 当	高橋大輔、神谷幸宏

名 称	レストランバスツアー運行実証業務
委託者	田原市
内 容	「花」を活用した新たなビジネスモデルの一つとして、レストランバスを活用し、「花」の生産現場、加工、販売などの内容をツアーに組み込むことで、田原産の「花」を知ってもらう良い機会とし、観光資源としても有効活用がされるように実証実験を行う。そのため、レストランバスツアーの造成、運行支援、参加者へのアンケート等による効果を検証し、事業の実施可能性について取りまとめる。
方 法	委員会方式、実証事業、アンケート調査、ヒアリング調査
担 当	高橋大輔、神谷幸宏

名 称	三河港神野ふ頭地区利用促進にかかる資料整理
委託者	国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所
内 容	本業務は、三河港神野ふ頭地区7-4号岸壁の利用促進を図るために、ふ頭再編を進めるための対応策を検討する。 具体的には、三河港神野ふ頭地区ふ頭7-4号岸壁の完成により、当該ふ頭全体の再編を進めていく上で、現状の取扱貨物の状況等について資料収集整理を行い、再編計画を着実に促進するための課題の整理およびその対応策を検討するものである。
方 法	資料収集整理、統計調査、ヒアリング調査
担 当	高橋大輔

名 称	港湾振興費の内三河港利用促進戦略検討調査業務委託
委託者	愛知県三河港務所
内 容	本調査は、三河港における完成自動車の輸出入取扱状況を把握し、併せて、三河港と同様に完成自動車を取扱う港湾にヒアリングを実施し、モータープール不足等の自動車港湾における諸課題への取り組み状況を調査する。 また、三河港の背後圏におけるコンテナ貨物の流動調査を行うとともに、背後圏における潜在的な利用企業等へヒアリングを実施し、三河港を利用するにあたっての課題等を調査する。 以上より、三河港の取扱貨物の拡大と利用促進に向けた取り組みの方向性を検討するための基礎資料を取りまとめる。
方 法	資料収集整理、統計調査、ヒアリング調査
担 当	高橋大輔

名 称	第2次三遠南信地域連携新ビジョン策定業務委託
委託者	三遠南信地域連携ビジョン推進会議
内 容	計画期間満了後の三遠南信地域連携の指針となる第2次三遠南信地域連携ビジョン（新ビジョン）を策定することを目的とし、①第2次三遠南信地域連携新ビジョン策定にかかる調査業務での調査結果等について、データの更新・追加・修正、②新ビジョン全体に対する助言、③新ビジョン重点プロジェクトの推進に向けた支援を行う。
方 法	ヒアリング調査、統計分析等
担 当	加藤勝敏、高橋大輔、佐藤克彦、神谷幸宏、星野君夫、山崎英子

名 称	大学生の就職等に関する意識調査
委託者	愛知県東三河総局
内 容	本業務は、地域の若者として東三河地域内に立地する4大学の学生を対象として、アンケート調査を実施し、就業や定住・定着に対する意識と同時に、地域企業の認知度を把握し、振興ビジョンに示された成果指標（東三河4大学の学生の東三河の企業に対する認知度）の現状と目標に向けた施策の方向性を検討する。
方 法	アンケート調査等
担 当	加藤勝敏、神谷幸宏、高橋大輔、佐藤克彦、山崎英子

名 称	東三河の地域公共交通利用促進事業
委託者	愛知県東三河総局
内 容	愛知県内他地域に先行して高齢化が進んでいる東三河では、今後さらに、地域公共交通の重要性が増すと考えられるが、地域公共交通の利用者は減少しており、地域の生活交通軸となる鉄道、バスの路線の維持が厳しい状況である。 そこで、地域公共交通の維持・確保に向けて、利用者の増加を図ることを目的として、地域公共交通の現状と課題の可視化、地域公共交通の重要性を伝えるイベントを開催し、地域のマスコミと連携した公共交通を取り挙げたPR活動を積極的に行い、公共交通利用者の増加のための啓発普及を進める。
方 法	地域公共交通の利用促進イベント（2回）の実施
担 当	加藤勝敏、神谷幸宏、星野君夫、高橋大輔、佐藤克彦、山崎英子

4. 講演会、セミナー等の開催

(1) 東三河地域問題セミナー（継続事業）等の実施

東三河地域等の地方自治体、企業、市民団体等を対象とし、地域が抱える諸課題の解決方策づくりに繋がる情報発信、地域の新しい取り組みに対する情報発信支援、人材交流機会の提供を行う場として、「東三河地域問題セミナー」（4回）、特別セミナー（1回）の合計5回を開催した。

東三河地域問題セミナー等

回	開催日	テーマおよび講師
1	平成29年 10月6日	東三河広域経済連合会・愛知県東三河広域観光協議会・東三河地域研究センター共催 「プロデュースとICTが変える地域・観光・人 イノベーションで創造する新しい東三河」
		「地域プロデュースとプラットフォーム形成」 株式会社umari(ウマリ) 代表取締役 古田 秘馬 氏
		「モビリティとICTによる観光地域づくり」 WILLER株式会社 執行役員 宿谷 勝士 氏
2	平成30年 4月10日	「人口減少時代のまちづくり手法 ～高松丸亀町商店街を事例に～」 高松丸亀町商店街振興組合 理事長 古川 康造 氏
特 別	平成30年 7月27日	「道の駅掛川のおもてなし」 株式会社道の駅掛川 代表取締役 河本 功 氏
3	平成30年 7月31日	「「地域で共に暮らす」を考える～障害者福祉の視点から～」 社会福祉法人岩崎学園 理事長 松下 直弘 氏
		「障害者と共に働く職場づくり～「鉄」の会社が「カレーライス」を作りはじめた理由(わけ)～」 株式会社るるまる 取締役 柴田 圭吾 氏
4	平成30年 9月5日	「浜松市西遠浄化センター・はままつフラワーパーク視察会」 視察1:浜松市西遠浄化センター(浜松市南区松島町) 視察2:はままつフラワーパーク(浜松市西区舘山寺町) 講演会:『感動をお渡しするために』 公益財団法人浜松市花みどり振興財団 理事長 塚本こなみ 氏

(2) 東三河産学官交流サロン等（継続事業）の実施

豊橋技術科学大学、愛知大学、愛知工科大学、豊橋創造大学等の東三河地域に立地している大学や企業の研究者、経営者を中心に講師を招聘し、地域問題に関する話題の提供、交流等を行う「東三河産学官交流サロン」を東三河懇話会と連携し運営した。開催場所はホテルアークリッシュ豊橋であり、毎回約 70～100 名の出席者があった。

東三河産学官交流サロン

回	開催日	テーマおよび講師
396	平成 29 年 10 月 17 日	「今こそ必要な、海外進出」 (株)竹中パートナーズ 代表取締役兼最高経営責任者 竹中 征夫 氏
397	平成 29 年 11 月 21 日	「〈弱いロボット〉の研究：人とロボットとの持ちつ持たれつの関係をめざして」 豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 教授 人間・ロボット共生リサーチセンター長 岡田美智男 氏
		「巨大災害からの事業復旧に向けて～世界最大を誇る災害復旧専門会社ベルフォア～」 ベルフォアジャパン(株) 業務推進部長 田島 崇士 氏
398	平成 29 年 12 月 26 日	「観光でつなぐ三河と遠州」 浜松学院大学 現代コミュニケーション学部 教授 地域共創学科 観光ツーリズム専攻 田中 健二 氏
		「明日につながる陽子線治療」 社会医療法人明陽会 成田記念病院 放射線科部長 柳 剛 氏
399	平成 30 年 1 月 16 日	「視覚認知情報学の世界 ～人工知能の時代こそ人間を理解する必要がある～」 豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 教授 中内 茂樹 氏
		「湖西市の新たな将来ビジョン ～持続可能な発展のために～」 湖西市長 影山 剛士 氏
400	平成 30 年 2 月 21 日	「地域と大学」 豊橋技術科学大学 学長 大西 隆 氏
401	平成 30 年 3 月 20 日	「宗教の政治経済学」 愛知大学 文学部 教授 伊東 利勝 氏
		「～働き方改革第 2 章”生産性革命”へ～『HR Tech の活用で実現する人材活用効率変革のシナリオ』」 (株)パーソル総合研究所 タレントマネジメント事業本部 タレントマネジメントコンサルティング部 ディレクター 甲斐 順也 氏
402	平成 30 年 4 月 17 日	「地域企業連携プロジェクトの取り組み～のんほいパーク盛り上げ隊！の活動を通して～」 豊橋創造大学 経営学部経営学科 准教授 三輪多恵子 氏
		「東三河の経済を支える三河港」 国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所長 平澤 興 氏

回	開催日	テーマおよび講師
403	平成 30 年 5 月 15 日	「シビックテックによる街のスマート化～豊橋市の活動について～」 豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 講師 大村 廉 氏
		「地方創生戦略の一断面～世代のリレーができるまち～」 新城市長 穂積 亮次 氏
404	平成 30 年 6 月 27 日	「動物の行動から考えるヒトの音声活用の特異性」 愛知大学 文学部心理学科 准教授 関 義正 氏
		「女性活躍、人口問題 等について」 参議院議員 太田 房江 氏
405	平成 30 年 7 月 18 日	「VRとIoTの医療応用:いつでもどこでも訓練が可能な手術訓練システムの開発」 愛知工科大学 工学部情報メディア学科 教授 田川 和義 氏
		「超高齢社会をデザインする」 さわらびグループCEO/DEO 山本 左近 氏
406	平成 30 年 8 月 22 日	「愛知県東三河地域の農業におけるIoTの活用事例と課題」 豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター 特任准教授 山内 高弘 氏
		「地域の開発と総合開発機構～50年の歩み～」 (株)総合開発機構 代表取締役社長 小林 宏之 氏
407	平成 30 年 9 月 19 日	「地域産業集積の優位性～岡山ジーンズ産業集積のケース～」 愛知大学 経営学部経営学科 教授 田中 英式 氏
		「豊橋の繊維産業を復活させ、世界を代表するブランドマスクへ」 (株)くればあ 取締役社長 中河原 毅 氏

(3) 国際自動車コンプレックス研究交流会の開催

東三河懇話会と連携し、国際自動車コンプレックス研究交流会を開催した。

①研究交流会の開催

・第 51 回研究交流会

日 時：平成 30 年 7 月 24 日（火）

場 所：豊橋市民センター（カリオンビル）6 階 多目的ホール

講師 1：愛知県 産業労働部産業振興課 課長補佐 福田充雄氏

テーマ 1：愛知県における自動運転推進に向けた取り組み

講師 2：名古屋大学 未来社会創造機構 特任教授 二宮芳樹氏

テーマ 2：自動運転の社会インパクトと実現の課題

・第 52 回研究交流会

日 時：平成 30 年 8 月 9 日（木）

場 所：豊橋商工会議所 508 会議室

講 師：日本大学 理工学部交通システム工学科 教授 轟朝幸氏

テーマ：海と空を活かした地方創生-水上飛行機の可能性

・第 53 回研究交流会

日 時：平成 30 年 9 月 3 日（月）

場 所：豊橋商工会議所 508 会議室

講 師：デロイト トーマツ コンサルティング合同会社

シニアマネジャー 柴田 信宏氏 マネジャー 西原 雅勇氏

シニアマネジャー 田岡 佑一郎氏 コンサルタント 小林 大輝氏

テーマ：モビリティ革命 2030 - 自動車・物流産業が迎える大変化

②視察会

日 時：平成 30 年 9 月 27 日（木）

視察先：三菱自動車工業(株)岡崎製作所／三河港蒲郡地区

③総会

第 19 期報告総会（自 平成 28 年 10 月 1 日 至 平成 29 年 9 月 30 日）

日 時：平成 30 年 2 月 7 日（水）

場 所：豊橋商工会議所 5 階 508 会議室

内 容：報告総会

- ・第 19 期事業報告および決算報告
- ・第 20 期事業計画および収支予算（案）
- 記念講演会
- ・中部地方整備局 港湾空港部長 田中知足氏
- ・演題：最近の港湾行政と三河港への期待

(4) 地域づくりに関連した講演会・シンポジウムの開催

東三河地域内で、地域研究を行う 4 大学（愛知大学、豊橋技術科学大学、豊橋創造大学、愛知工科大学）の協力により、地域研究紹介の場として、卒業論文・修士論文等の発表会を平成 30 年 3 月 15 日に愛知大学で開催した。愛知大学から 2 名、豊橋技術科学大学から 2 名、豊橋創造大学から 2 名、愛知工科大学から 2 名の発表があった。

5. 機関誌等の発行

(1) 東三河地域研究の作成とホームページでの公表

地域問題セミナー等の講演録を中心として、機関誌「東三河地域研究」を作成し、ホームページによる情報公開・メールマガジンによる配信を行うとともに、地域を取り巻く最新の地域政策事情等の広報活動を行った。

(2) 地域情報の発信

東三河地域等に関係した地域情報を収集・整理し、地域の実情として講演等の場での情報発信事業を行った。また、三遠南信シンクタンク連携事業による研究成果をホームページに掲載したとともに、平成30年8月2日に開催された食農産業クラスター推進協議会の総会・交流会にパネル出展した。

6. 体験活動等の受託

地域振興・地域活性化に資する社会的企業等の社会貢献型事業や、地域づくりに繋がる人材開発・人材育成等についての事業として、自然環境保全の担い手育成「東三河自然再生推進事業」（東三河総局）、高校生による地域づくり事業（ミライカフェほの国 2018）を東三河総局の支援を頂きながら実施した。

(1) 東三河自然再生推進事業（愛知県東三河総局委託事業）

東三河の自然の魅力を広く普及し、フィールドへ多くの人を呼び寄せ、広い世代に東三河の自然を楽しく体験してもらい、自然を活かした地域の活性化を進めるため、水辺環境や渥美半島の自然公園について学び、それらの魅力発信を実践する講座（里川フィールドリーダー養成講座、自然公園魅力発信コアリーダー養成講座）を開催し、自然公園フィールドエコツアーを実施した。

(2) ミライカフェほの国 2018 の開催

平成30年2月3日（土）に開発ビル6階において、東三河の高校生（渥美農業5名、豊橋工業1名、豊橋商業2名、三谷水産7名、桜丘7名の合計22名）が、東三河地域を「住み続けたい町」「住んでみたい町」として維持・変えていくため、ビジネスプラン等の意見交換や高校間の連携についてのグループワークを行い、地元への関心や愛着心等を高揚させた。

ビジネスプランでは、3校から「コラーゲンたっぷりの白いカレー」「深輝（シンキ）あら！？メヒカリさん」「地域の自然の魅力発信！」の発表が行われた。

7. 自治体職員等研修の受け入れ等による人材育成、各種研修会への職員派遣等の事業

(1) 自治体職員・民間企業職員等の受入事業の実施

自治体・民間企業等から職員として豊橋信用金庫職員を受け入れ、実地研修と OJT を組合せながら、地域政策や地域づくりに関する人材育成事業を実施した。

2018 年 4 月～ 神谷幸宏（豊橋信用金庫）

(2) 大学生のインターンシップ事業の受入事業の実施

豊橋技術科学大学の学生 1 名をインターンシップ事業として受け入れ、地域政策や地域づくりに関する人材育成事業を実施した。

・豊橋技術科学大学学生 期間：平成 30 年 1 月～2 月

(3) 各種研修会等への職員の派遣

地域政策や地域づくりに関連し、地方自治体や民間企業等が実施する研修会、大学が行う各種講座等に対して、講師派遣依頼に基づいて、職員を派遣した。

職員派遣の実績（平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月末日）

職員名	活動内容
常務理事 加藤勝敏	平成 29 年 10 月 愛知大学地域政策学部「東海地域の今日的課題(農業)」の講義
	平成 29 年 9 月～平成 30 年 3 月 愛知大学地域政策学部「地域イノベーション論」の講義
	平成 30 年 4～7 月 豊橋創造大学 看護学部「東三河の歴史風土の文化」の講義
	平成 30 年 4 月 2018 年度 文部科学省 共同利用・共同研究拠点 愛知大学『越境地域政策研拠点』運営委員会
	平成 30 年 6 月、8 月 県境域協議会 幹事会（第 1～2 回）
調査研究室長 高橋大輔	平成 29 年 11 月、平成 30 年 2 月 平成 29 年度第 3～4 回 東三河ビジョン協議会 企画委員会
	平成 30 年 7 月 平成 30 年度 第 1 回東三河ビジョン協議会 企画委員会
	平成 29 年 12 月 平成 29 年度 第 3 回東三河まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会
	平成 30 年 7 月 平成 30 年度 第 1 回東三河まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会
	平成 29 年 11 月 平成 29 年度 第 2 回豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会部会
	平成 30 年 7 月 平成 30 年度 第 1 回豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会部会
	平成 30 年 2 月 平成 29 年度 第 2 回田原市まち・ひと・しごと創生連携会議
	平成 30 年 7 月 平成 30 年度 第 1 回田原市まち・ひと・しごと創生連携会議
	平成 29 年 10 月、3 月 平成 29 年度 第 1～2 回豊川インバウンド促進事業委員会
	平成 29 年 8 月～11 月 平成 29 年度 第 1～3 回豊川市における市民生活に関する検討委員会
	平成 30 年 1 月 平成 29 年度 第 1 回蒲郡市産業振興協議会
	平成 30 年 1～2 月 平成 29 年度 第 1～3 回蒲郡商工会議所健康デザインプロジェクト研究会
	平成 30 年 7、9 月 平成 30 年度 スポーツを活用したまちづくり第 1～2 回評価委員会
	平成 29 年 12 月 平成 29 年度 東三河広域経済連合会 人材育成プロジェクト委員会
	平成 30 年 5 月 平成 30 年度 東三河広域経済連合会全体会議
主任研究員 佐藤克彦	平成 29 年 10 月～平成 30 年 3 月 平成 29 年度 東三河広域経済連合会 第 2～4 回東三河 DMO ワーキング研究会
	平成 30 年 3 月 日本観光学会中部支部大会
	平成 29 年 12 月、平成 30 年 6 月 中部『歴史地震』研究懇談会
主任研究員 鈴木伴季	平成 30 年 3 月、7 月 東三河地域産業連携推進会議
	平成 30 年 6 月 三河港 BCP 協議会
	平成 29 年 10 月 2017 年度 愛知大学地域政策学センター 研究会 報告
研究員 神谷幸宏	平成 30 年 8 月 内蒙古大学・愛知大学学術交流 10 周年記念シンポジウム 報告
	平成 30 年 6 月 豊橋市立高豊中学校「働く人から学ぶ会」講師派遣

Ⅱ. 理事会等の庶務事項

1. 理事会等に関する事項

(1) 理事会

日 時	平成29年11月7日（火）午前11時00分
場 所	ホテルアークリッシュ4階 ザ・グリーンルーム（豊橋市駅前大通1-55）
出席理事	10名
第1号議案	新平成28年度（平成28年10月1日から平成29年9月30日まで）の事業報告ならびに収支決算報告の件

日 時	平成30年9月10日（月）午前11時00分
場 所	ホテルアークリッシュ4階 ザ・グリーンルーム（豊橋市駅前大通1-55）
出席理事	9名
第1号議案	2018年度（2018年10月1日から2019年9月30日まで）の事業計画(案)ならびに収支予算(案)の件
第2号議案	2018年度理事会・総会開催の件
第3号議案	任期満了に伴う理事・監事の選任の件

(2) 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条の規定に基づいた提案

提 案 者	代表理事 神野吾郎
提 案 日	平成30年3月22日
提 案 事 項	第1号議案 参与選任の件 （氏名）星野 君夫
理事会の決議があったとみなされた日	平成30年3月28日

2. 総会に関する事項

日 時	平成29年11月28日（火）午後2時00分
場 所	ホテルアークリッシュ豊橋5階 ザ・グレイス（豊橋市駅前大通1-55）
出席社員	104名
第1号議案	新平成28年度（平成28年10月1日から平成29年9月30日まで）の事業報告・収支決算の件

記念講演会

日 時	平成29年11月28日（火）午後3時00分
場 所	ホテルアークリッシュ豊橋5階 ザ・グレイス
講 師	愛媛県 市町振興課長 井上貴至 氏
テ ー マ	『地域づくりは楽しい』

3. 職員に関する事項

- ・平成30年3月28日付で参与に就任していただいた星野君夫氏を、同年4月から特任研究官として採用した。

Ⅲ. 法人の概要

1. 設立年月日

平成24年10月1日 移行により設立（法人設立日は昭和58年4月1日）

2. 定款に定める目的

この法人は、愛知県東部の東三河を中心とし、合わせて静岡県西部の遠州、長野県南部の南信州を含めた地域（以下三遠南信地域という）等の地域政策に関する調査研究を行うことにより、地域社会の健全な発展に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 情報及び資料の収集ならびに調査研究
- (2) 調査研究業務の受託
- (3) 講演会、セミナー等の開催
- (4) 機関誌等の発行
- (5) 体験活動等の受託
- (6) 自治体職員等研修の受け入れによる人材育成、各種研修会への職員の派遣等の事業
- (7) 個別企業等からの委託による、調査研究業務の受託等の事業
- (8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 監督機関に関する事項

内閣府

5. 社員等の状況（2018年9月30日現在）

- | | |
|----------|---------|
| (1) 正会員数 | 149 法人 |
| | 2 人（個人） |
| (2) 特別会員 | 12 団体 |
| (3) 賛助会員 | 5 人 |

6. 主たる事務所の状況

愛知県豊橋市駅前大通三丁目53番地 太陽生命豊橋ビル2階

7. 理事等の名簿（2018年9月末現在）

(1) 役員

理事長	神野 吾郎（株式会社サーラコーポレーション 代表取締役社長）
副理事長	吉川 一弘（豊橋信用金庫 会長）
副理事長	中村 捷二（中部ガス株式会社 取締役相談役）
副理事長	戸田 敏行（愛知大学 地域政策学部 教授）
理事・相談役	神野 信郎（中部ガス株式会社 名誉顧問）
理事	大西 隆 （豊橋技術科学大学 学長）
理事	川井 伸一（愛知大学 学長・理事長）
理事	伊藤 晴康（豊橋創造大学 理事長・学長）
理事	安田 孝志（愛知工科大学 学長）
理事	俵山 初雄（一般財団法人しんきん経済研究所 理事長）
理事	白坂敬之介（株式会社サイエンス・クリエイト 常務取締役）
常務理事	加藤 勝敏（主席研究員）
監事	河合 秀敏（愛知大学 名誉教授）
監事	近藤 仁 （前中部電力株式会社 豊橋営業所長）
監事	松井 和彦（株式会社サーラコーポレーション 代表取締役専務）

(2) 顧問・参与

顧問	榊 佳之（東京大学 名誉教授・豊橋技術科学大学 名誉教授）
顧問	西永 頌 （東京大学 名誉教授・豊橋技術科学大学 名誉教授）
顧問	後藤 圭司（豊橋技術科学大学 名誉教授）
顧問	藤田 佳久（愛知大学 名誉教授）
顧問	佐藤 元彦（愛知大学教授）
参与	星野 君夫（豊橋商工会議所 参与）

(3) 事務局

事務局長	山田 典由（東三河懇話会 事務局長と兼務）
------	-----------------------

2. 平成 29 年度収支決算報告

1. 貸借対照表

平成 30 年 9 月 30 日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	39,999,890	37,649,696	2,350,194
未収金	0	75,630	△ 75,630
未成調査支出金	2,111,633	1,989,881	121,752
貯蔵品	5,333	16,116	△ 10,783
流動資産合計	42,116,856	39,731,323	2,385,533
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
減価償却引当預金（特）	5,468,873	4,194,282	1,274,591
事務所二次移転積立金（特）	4,000,000	4,000,000	0
特定資産合計	9,468,873	8,194,282	1,274,591
(3) その他固定資産			
什器備品	7,823,989	7,823,989	0
減価償却累計額	△ 5,468,873	△ 4,194,282	△ 1,274,591
電話加入権	299,936	299,936	0
敷金	4,838,400	4,838,400	0
その他固定資産合計	7,493,452	8,768,043	△ 1,274,591
固定資産合計	16,962,325	16,962,325	0
資産合計	59,079,181	56,693,648	2,385,533
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,229,693	1,795,186	1,434,507
未払法人税等	71,000	71,000	0
未払消費税等	1,066,100	0	1,066,100
預り金	426,287	390,894	35,393
流動負債合計	4,793,080	2,257,080	2,536,000
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	4,793,080	2,257,080	2,536,000
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	54,286,101	54,436,568	△ 150,467
正味財産合計	54,286,101	54,436,568	△ 150,467
負債及び正味財産合計	59,079,181	56,693,648	2,385,533

2. 正味財産増減計算書

平成 29年 10月 1日 から平成 30年 9月 30日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	7,320,000	7,260,000	60,000
特別会員受取会費	754,000	741,000	13,000
賛助会員受取会費	25,000	25,000	0
受取会費計	8,099,000	8,026,000	73,000
事業収益			
事業収益	39,743,960	42,564,997	△ 2,821,037
雑収益			
受取利息	3,412	3,677	△ 265
雑収益	316,912	23,148	293,764
雑収益計	320,324	26,825	293,499
経常収益計	48,163,284	50,617,822	△ 2,454,538
(2) 経常費用			
事業費			
期首未成調査支出金	1,989,881	4,808,894	△ 2,819,013
調査研究費	17,839	0	17,839
期末未成調査支出金	△ 2,111,633	△ 1,989,881	△ 121,752
給料手当	15,543,256	17,158,545	△ 1,615,289
臨時雇賃金	2,391,440	1,809,653	581,787
賞与	1,402,217	1,668,370	△ 266,153
福利厚生費	221,188	192,449	28,739
法定福利費	1,430,548	1,554,683	△ 124,135
旅費交通費	2,768,044	3,076,805	△ 308,761
通信運搬費	698,124	822,308	△ 124,184
減価償却費	1,167,525	450,301	717,224
消耗品費	2,528,941	2,314,030	214,911
修繕費	806,080	880,936	△ 74,856
新聞図書費	670,999	646,517	24,482
光熱水料費	430,312	394,274	36,038
賃借料	5,135,373	6,311,479	△ 1,176,106
会議費	2,471,139	2,848,843	△ 377,704
諸謝金	780,237	639,684	140,553
租税公課 (※)	2,557,972	12,629	2,545,343
支払負担金	318,495	368,068	△ 49,573
外注費	3,014,619	6,129,670	△ 3,115,051
支払保険料	62,197	88,291	△ 26,094
引越費用	0	1,135,801	△ 1,135,801
雑費	474,178	539,170	△ 64,992
事業費計	44,768,971	51,861,519	△ 7,092,548

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費			
給料手当	1,185,169	1,222,099	△ 36,930
賞与	117,583	111,323	6,260
法定福利費	94,469	87,420	7,049
福利厚生費	20,284	16,508	3,776
保険料	4,273	6,263	△ 1,990
交際費	89,428	108,619	△ 19,191
旅費交通費	104,431	70,184	34,247
通信運搬費	90,582	123,514	△ 32,932
減価償却費	107,066	150,100	△ 43,034
消耗品費	229,669	152,774	76,895
修繕費	73,920	75,564	△ 1,644
印刷製本費	71,603	70,031	1,572
新聞図書費	36,028	31,230	4,798
光熱水料費	39,461	33,819	5,642
賃借料	450,629	519,673	△ 69,044
広報費	0	131,750	△ 131,750
諸謝金	0	40,904	△ 40,904
租税公課	218	79,051	△ 78,833
支払負担金	30,758	17,333	13,425
総会理事会費	697,368	439,938	257,430
事務委託費	56,616	150,671	△ 94,055
諸会費	13,000	13,000	0
雑費	32,225	134,814	△ 102,589
管理費計	3,544,780	3,786,582	△ 241,802
経常費用計	48,313,751	55,648,101	△ 7,334,350
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 150,467	△ 5,030,279	4,879,812
当期経常増減額	△ 150,467	△ 5,030,279	4,879,812
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 150,467	△ 5,030,279	4,879,812
当期一般正味財産増減額	△ 150,467	△ 5,030,279	4,879,812
一般正味財産期首残高	54,436,568	59,466,847	△ 5,030,279
一般正味財産期末残高	54,286,101	54,436,568	△ 150,467
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	54,286,101	54,436,568	△ 150,467

※平成22～23年に実施した社会雇用創造事業において、平成29年11月に会計検査院から指摘された消費税に関する返還金請求に対して、委託元である三遠南信地域連携ビジョン推進会議に返還した2,458,040円を含む

3. 正味財産増減計算書内訳書

平成 29年 10月 1日 から平成 30年 9月 30日 まで

(単位：円)

	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費				
正会員受取会費	3,660,000	0	3,660,000	7,320,000
特別会員受取会費	377,000	0	377,000	754,000
賛助会員受取会費	25,000	0	0	25,000
受取会費計	4,062,000	0	4,037,000	8,099,000
事業収益				
事業収益	34,522,108	5,221,852	0	39,743,960
雑収益				
受取利息	0	0	3,412	3,412
雑収益	23,148	0	293,764	316,912
雑収益計	23,148	0	297,176	320,324
経常収益計	38,607,256	5,221,852	4,334,176	48,163,284
(2) 経常費用				
事業費				
期首未成調査支出金	1,246,154	743,727	0	1,989,881
調査研究費	17,839	0	0	17,839
期末未成調査支出金	△2,104,229	△ 7,404	0	△ 2,111,633
給料手当	14,005,358	1,537,898	0	15,543,256
臨時雇賃金	2,391,440	0	0	2,391,440
賞与	1,249,639	152,578	0	1,402,217
福利厚生費	194,868	26,320	0	221,188
法定福利費	1,307,962	122,586	0	1,430,548
旅費交通費	2,623,503	144,541	0	2,768,044
通信運搬費	619,602	78,522	0	698,124
減価償却費	1,028,595	138,930	0	1,167,525
消耗品費	2,285,554	243,387	0	2,528,941
修繕費	710,160	95,920	0	806,080
新聞図書費	606,702	64,297	0	670,999
光熱水料費	379,107	51,205	0	430,312
賃借料	4,550,629	584,744	0	5,135,373
会議費	2,471,139	0	0	2,471,139
諸謝金	780,237	0	0	780,237
租税公課 (※)	2,486,090	71,882	0	2,557,972
支払負担金	281,697	36,798	0	318,495
外注費	2,761,153	253,466	0	3,014,619
支払保険料	56,652	5,545	0	62,197
引越費用	0	0	0	0
雑費	432,167	42,011	0	474,178
事業費計	40,382,018	4,386,953	0	44,768,971

	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
管理費				
給料手当	0	0	1,185,169	1,185,169
賞与	0	0	117,583	117,583
法定福利費	0	0	94,469	94,469
福利厚生費	0	0	20,284	20,284
保険料	0	0	4,273	4,273
交際費	0	0	89,428	89,428
旅費交通費	0	0	104,431	104,431
通信運搬費	0	0	90,582	90,582
減価償却費	0	0	107,066	107,066
消耗品費	0	0	229,669	229,669
修繕費	0	0	73,920	73,920
印刷製本費	0	0	71,603	71,603
新聞図書費	0	0	36,028	36,028
光熱水料費	0	0	39,461	39,461
賃借料	0	0	450,629	450,629
広報費	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0
租税公課	0	0	218	218
支払負担金	0	0	30,758	30,758
総会理事会費	0	0	697,368	697,368
事務委託費	0	0	56,616	56,616
諸会費	0	0	13,000	13,000
雑費	0	0	32,225	32,225
管理費計	0	0	3,544,780	3,544,780
経常費用計	40,382,018	4,386,953	3,544,780	48,313,751
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,774,762	834,899	789,396	△ 150,467
当期経常増減額	△ 1,774,762	834,899	789,396	△ 150,467
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	243,771	△ 243,771	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,530,991	591,128	789,396	△ 150,467
当期一般正味財産増減額	△ 1,530,991	591,128	789,396	△ 150,467
一般正味財産期首残高	0	0	54,436,568	54,436,568
一般正味財産期末残高	△ 1,530,991	591,128	55,225,964	54,286,101
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 1,530,991	591,128	55,225,964	54,286,101

※平成22～23年に実施した社会雇用創造事業において、平成29年11月に会計検査院から指摘された消費税に関する返還金請求に対して、委託元である三遠南信地域連携ビジョン推進会議に返還した2,458,040円を含む

4. 財産目録（平成30年9月30日現在）

（単位：円）

科目	所在場所等	使用目的	金額		
I 資産の部					
1 流動資産					42,116,856
1) 現金				98,208	
① 現金手元有高	手元保管	運転資金として	98,208		
2) 預金				6,546,524	
① 普通預金					
三菱東京UFJ銀行	豊橋支店	運転資金として	6,460,215		
豊橋信用金庫	中央支店	運転資金として	47,193		
蒲郡信用金庫	豊橋支店	運転資金として	13,856		
豊川信用金庫	豊橋支店	運転資金として	11,727		
豊橋商工信用組合	本店	運転資金として	7,593		
商工組合中央金庫	豊橋支店	運転資金として	5,940		
3) 定期預金				33,355,158	
豊橋信用金庫	中央支店	運転資金として	29,352,048		
豊川信用金庫	豊橋支店	運転資金として	3,002,172		
豊橋商工信用組合	本店	運転資金として	500,467		
商工組合中央金庫	豊橋支店	運転資金として	500,471		
4) 未成調査支出金				2,111,633	
① 継続調査		公益目的事業に係るもの	2,111,633		
5) 貯蔵品		事務所手持ち切手、印紙		5,333	
2 固定資産					16,962,325
1) 特定資産				9,468,873	
① 減価償却引当特定預金					
豊橋信用金庫 定期預金	中央支店	資産取得資産として 管理されている預金	5,468,873		
② 第2次事務所移転積立金					
豊橋信用金庫 定期預金	中央支店	事務所移転費用の積立金	4,000,000		
2) その他固定資産				7,493,452	
① 什器備品		公益目的事業に供している	7,823,989		
② 減価償却累計額		公益目的事業に供している	-5,468,873		
③ 電話加入権		公益目的事業に供している	299,936		
④ 敷金		公益目的事業に供している	4,838,400		
資産の部合計					59,079,181
II 負債の部					
1 流動負債					4,793,080
1) 未払金		公益目的事業に係るもの		3,229,693	
2) 未払法人税等		収益目的事業に係るもの		71,000	
3) 未払消費税等		法人全体に係るもの		1,066,100	
4) 預り金				426,287	
① 社員の社会保険料・所得税等		従業員に対するもの	426,287		
負債の部合計					4,793,080
正味財産					54,286,101

5. 財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に疑義はございません。

2. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価方法について
最終仕入原価法による原価法により評価しています。
- (2) 固定資産の減価償却について
什器備品・・・定額法による減価償却を実施しております。
- (3) 消費税の会計処理について
税抜方式を採用しております。

3. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次の通りであります。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
減価償却引当預金（特）	4,194,282	1,274,591	0	5,468,873
第2次事務所移転積立金（特）	4,000,000	0	0	4,000,000
合計	8,194,282	1,274,591	0	9,468,873

4. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次の通りであります。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
特定資産				
減価償却引当預金（特）	5,468,873	0	5,468,873	0
第2次事務所移転積立金（特）	4,000,000	0	4,000,000	0
合計	9,468,873	0	9,468,873	0

5. 担保に供している資産

該当ありません。

6. 有形固定資産（什器備品）の取得価額等は、次の通りであります。

資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産				
減価償却引当預金（特）	4,194,282	1,274,591	0	5,468,873
第2次事務所移転積立金（特）	4,000,000	0	0	4,000,000
合計	8,194,282	1,274,591	0	9,468,873
その他固定資産				
什器備品	7,823,989	0	0	7,823,989
減価償却累計額	-4,194,282	-1,274,591	0	-5,468,873
電話加入権	299,936	0	0	299,936
敷金	4,838,400	0	0	4,838,400
合計	8,768,043	-1,274,591	0	7,493,452

7. 重要な後発事象

該当ありません。

付属明細書

1. 特定資産の明細

財務諸表の注記に記載をしているため内容を省略しています。

6. 監査報告書

監査報告書

公益社団法人東三河地域研究センター
理事長 神 野 吾 郎 殿

公益社団法人東三河地域研究センターの平成 29 年度（平成 29 年 10 月 1 日から平成 30 年 9 月 30 日まで）貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、収支計算書、およびその他の計算書類、関係帳簿を監査した結果、いずれも適正であることを認めます。

平成30年11月1日

公益社団法人東三河地域研究センター

監 事 河 合 秀 敏 印

監 事 近 藤 仁 印

監 事 松 井 和 彦 印

第2号議案 任期満了に伴う理事・監事の選任の件

◆理事（11名）

神野吾郎	（株式会社サーラコーポレーション代表取締役社長）	留任
吉川一弘	（豊橋信用金庫会長）	留任
中村捷二	（中部ガス株式会社取締役相談役）	留任
戸田敏行	（愛知大学地域政策学部教授）	留任
大西 隆	（豊橋技術科学大学学長）	留任
川井伸一	（愛知大学学長・理事長）	留任
伊藤晴康	（豊橋創造大学理事長・学長）	留任
安田孝志	（愛知工科大学学長）	留任
俵山初雄	（一般財団法人しんきん経済研究所理事長）	留任
白坂敬之介	（株式会社サイエンス・クリエイト常務取締役）	留任
加藤勝敏	（主席研究員）	留任

◆監事（3名）

河合秀敏	（愛知大学名誉教授）	留任
近藤 仁	（前中部電力株式会社豊橋営業所長）	退任
牧 眞司	（中部電力株式会社豊橋営業所長）	新任
松井和彦	（株式会社サーラコーポレーション代表取締役専務）	留任

【参考】

◆顧問（5名）

榊 佳之	（東京大学名誉教授・豊橋技術科学大学名誉教授）	留任
西永 頌	（東京大学名誉教授・豊橋技術科学大学名誉教授）	留任
後藤圭司	（豊橋技術科学大学名誉教授）	留任
藤田佳久	（愛知大学名誉教授）	留任
佐藤元彦	（愛知大学教授）	留任

◆参与（1名）

星野 君夫	（豊橋商工会議所参与）	留任
-------	-------------	----